

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無・その他） 記入日 令和5年 4月3日

基本情報	事業名称		担当部署								
	選挙管理委員会運営費 [選挙管理委員会運営事務]		部	選挙管理委員会			係	選挙係			
			課	選挙管理委員会事務局			課長名	井上 昌弘			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	行財政運営 1. 行財政運営、行政改革					第五次基本計画	153 ページ			
	1 施策	行財政 — 1 行財政運営、行政改革					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☒ 市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ より一層の行政改革の推進					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ デジタル化の推進					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☐ 法定受託事務 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乘せなし） ☒ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
予算科目	会 計	一般会計	款	2	項	4	目	1	事業番号	2	
開始年度	年度		☒ 不詳		行政報告書	495 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	公職選挙法等										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		公職選挙法の定めに基づき、選挙管理委員会を開催する。								
	対象：誰を、何を対象としているか					目的：対象をどのような状態にしたいのか					
	当該年度に開催した選挙管理委員会における付議案件					選挙管理委員会の適正な運営を図る。					
	活動内容：どのような手段で行ったのか					実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか					
	選挙管理委員会における付議案件数					付議案件数／選挙管理委員会において付議すべき案件数					
3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度			
	事業費（実績）		円	2,866,674		2,649,498		2,784,105			
	財源	一般財源	円	2,848,314		2,642,188		2,770,180			
		特定財源（国・都・他）	円	18,360		7,310		13,925			
		（うち受益者負担）	円	0		0					
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	1		1		1			
		所要人数（再任用）	人	0		0		0			
		職員人件費（再任用以外）	円	8,380,000		8,250,000		8,160,000			
		職員人件費（再任用）	円	0		0		0			
事業費+人件費		円	11,246,674		10,899,498		10,944,105				
4 課題	(1)令和4年度に課題とした内容（「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート 4課題を転記）										
	選挙人名簿からの抹消、選挙人名簿への定時登録その他選挙管理委員会の権限に属する事務手続は、公職選挙法その他の関係法令に規定されており、当該法令を正しく解釈し、事務を適正に執行することが求められる。そのため、研修等に積極的に参加することで、関係法令等の解釈をより一層深め、複雑多様化する事務を適正に執行する必要がある。										
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと										
	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催された研修等は限られたものであったが、積極的な参加をすることで、関係法令等の理解を深めた。										
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）※廃止したものを除く										
引き続き、研修等への参加をすることで、正しい法解釈を身につけ、適正な事務を執行していくことが求められる。											
5 今後の方向性	(1)仕事の方向性、今後の取組 ※廃止したものを除く										
	選挙管理委員会の適正な運営を図る										
	(2)上記の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ※廃止したものを除く										
選挙人名簿の適正な管理											

「令和4年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和5年 4月3日

1 基本情報	事業名称		担当部署								
	選挙常時啓発事業費		部	選挙管理委員会			係	選挙係			
	[明るい選挙啓発事務]		課	選挙管理委員会事務局			課長名	井上 昌弘			
	総合計画（輝きプラン）における位置づけ										
	基本施策	行財政運営 1. 行財政運営、行政改革					第五次基本計画	153 ページ			
	施 策	行財政 — 1 行財政運営、行政改革					複数施策	☐ あり			
	展開方向	1	☒ 市民サービスの質の向上と効果的・効率的な行財政運営の推進					重要施策	☒ 該当		
		2	☐ より一層の行政改革の推進					まち・ひと・しごと創生 総合戦略アクションプラン	ページ		
		3	☐ デジタル化の推進					実施計画	☐ 該当		
	事業種別	☒ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市の実施が義務付けられているもの（上乗せあり）									
予算科目	会 計	一般会計	款	2	項	4	目	2	事業番号	1	
開始年度	年度 ☒ 不詳				行政報告書	142 ページ		新規・継続	継続		
実施の根拠 (法令・要綱等)	東京都選挙管理委員会及び東京都明るい選挙推進協議会からの依頼に基づき実施										
2 事業概要・目的・活動・実績	事業概要		選挙啓発活動の一環として、市内各小中学校から明るい選挙ポスターコンクールの作品について提出を依頼し、入選作品を東大和市役所1階ロビーで展示した。								
	対象：誰を、何を対象としているか				目的：対象をどのような状態にしたいのか						
	選挙人名簿登録者（今後選挙人名簿に登録される者を含む。）				政治と選挙に深い関心と高い意識を持つ。 投票総参加ときれいな選挙を実現する。						
	活動内容：どのような手段で行ったのか				活動実績：事業を実施した結果「対象」にどのような変化があったか						
	募集学校数 小学校10校、中学校5校				選挙啓発が選挙人の投票行動にどのような影響を及ぼすものかを判断することは、極めて困難である。						
	効果指標			単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		年度目標値		校・枚	募集：小学校10校、中学校5校 応募：小学校10校、中学校5校		募集：小学校10校、中学校5校 応募：小学校10校、中学校5校		募集：小学校10校、中学校5校 応募：小学校10校、中学校5校		
		効果実績値		校・枚	応募：小学校1校、中学校3校 作品：小学校1校、中学校164枚		応募：小学校1校、中学校2校 作品：小学校3校、中学校59枚		応募：小学校0校、中学校2校 作品：小学校0校、中学校14枚		
		目標値設定の考え方		全ての小中学校からの応募を実現する。							
	3 経費	事業のコスト（実績）		単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		
事業費（実績）		円	292,464		160,704		195,079				
財源		一般財源	円	292,464		160,704		195,079			
		特定財源（国・都・他）	円	0		0		0			
		（うち受益者負担）	円	0		0		0			
人件費（目安）		所要人数（再任用以外）	人	1		1		1			
		所要人数（再任用）	人	0		0		0			
		職員人件費（再任用以外）	円	8,380,000		8,250,000		8,160,000			
		職員人件費（再任用）	円	0		0		0			
事業費+人件費		円	8,672,464		8,410,704		8,355,079				
4 市民等の意見	令和4年度中に寄せられた市民・議会等の意見、市民・サービス利用者等の実態やその意識について										
	近年、投票率が低下傾向にあり、特に20～30歳代の投票率が低く、より一層の選挙に関する啓発、周知等が求められている。										

5	市民協働の取組	取組手法：						
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）						
	令和5年度に向け、さらに適した協働の形態とするために 「考え」「気付いた」点							
6	分析・評価	(1)効果指標(評価の視点：この1年間、事務事業を行ったことによる効果の変動はどうだったか)						
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明： 選挙啓発が選挙人の投票行動にどのような影響を及ぼすものを判断することは、極めて困難であり、効果を把握することは難しい。					
		(2)費用対効果(評価の視点：実施方法などを見直して、事業費や人件費を縮減することができたか)						
		☐ 向上 ☒ 維持 ☐ 低下	説明： 当該事業費の大部分は消耗品費及び職員人件費であるため、大幅な予算の増減は、事業の性質上見込まないことから、維持とした。					
		(3)指標の達成状況の評価						
			(2) 費用対効果			成果ランク (評 価)	成果 ランク の 説 明 と 方 向 性	A：効果指標・費用対効果が共に向上
		(1)		向上	維持	低下		B：効果指標が向上・費用対効果が維持
		効果 指標	向上	A	B	D		C：効果指標が維持・費用対効果が向上
			維持	C	E	G		D：効果指標が向上・費用対効果が低下
			低下	F	H	I		E：効果指標・費用対効果が共に維持
※ (1)の効果指標と(2)の費用対効果が交わったところが、G、Hのときは、縮小・休止を含めた要改革を検討し、Iのときは廃止を検討する。					F：効果指標が低下・費用対効果が向上			
					G：効果指標が維持・費用対効果が低下 ※			
					H：効果指標が低下・費用対効果が維持 ※			
					I：効果指標・費用対効果が共に低下 ※			
(4)効率性評価(さらに費用対効果の向上を図るためにできることは何か。成果を下げずに事業費を削減できないか。)								
☒ 見直す余地がある ☐ 見直す余地はない		説明： 現在、小中学校に限って募集しているが、対象を市内の東京都立高校2校に依頼する等、対象校を拡大する。						
(5)休止・廃止した場合の影響(評価の視点：第五次基本計画の施策を実現するための手段として考える。)								
☐ 大きい ☐ 小さい ☒ 不可能		説明： 当該事業は、東京都選挙管理委員会及び東京都明るい選挙推進協議会からの依頼に基づくものであり、当市の意向で休止及び廃止することが困難である。						
7	課 題	(1)令和4年度に課題とした内容(「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)						
		小中学校へさらなる協力を依頼することで、応募作品数の増加を図る。						
		(2)(1)の課題解決に向けた取組や事務改善など、令和4年度に実施したこと						
		特になし						
		(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)						
投票総参加は一朝一夕で実現できることではないが、ポスターコンクールを開催し、応募作品数を増加させることで、若年層への選挙啓発を継続する。								
8	方 向 性	(1)今後の取組(「6分析・評価 及び 7課題」を踏まえた具体的な改革・改善案など)						
		東京都選挙管理委員会及び東京都明るい選挙推進協議会からの依頼に基づき事務を進める。						